

公共事業新規評価の結果について

【維持系】

- ・ 農山漁村課...P1 ~ 2
- ・ 道 路 課...P3 ~ 7
- ・ 港 湾 課...P8 ~ 18

農山漁村課

公共事業新規評価調書(維持系)

様式3-2

本部・部名	県土づくり本部	課名	農山漁村課	事業名	防災ダム事業
種別	河川・ダム(施設)事業	事業区分	維持管理		

事業目的	本ダムは築造後44年を経過し、部分的に施設の更新が行われているものの、管理機器等のほとんどは耐用年数を経過し機能不全が危ぶまれる状況にある。このまま老朽化が進むと本ダムの建設目的である下流の洪水緩和、農業用水の補給が損なわれるため早急な管理機器等の更新をおこなう。
------	--

定性評価	自然環境保全	工事に配慮すべき動植物の生息が確認された場合は、関係部局と協議し、保護移植等の対策を講じることとする。
	生活環境対策	排ガス対策機械を使用する
	コスト削減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

箇所番号	路河川名及び地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万円)	完成 予定 年度	評価視点:位置付け										評価視点:必要性・効果										評価視点:実施環境					評価	判断											
		市町村名	大字等			評価指標:点検診断結果による判定					評価指標:点検診断結果による判定 (対象機器:施設の重要度)					評価指標:施設の劣化状況 (施設造成後の経過年数)					評価指標:前回修繕からの経年					評価指標:破損・錆の目視判断							評価指標:想定被災区域の状況					評価指標:操作性による判断					
						緊急を要する	修繕が望ましい	最低でも機能保持は可能	機能は十分発揮できる	点数	主要機器である	主要機器に影響を与える附属施設である	主要機器に影響のない附属施設である	点数	施設設置より10年以上経過している	施設設置より5~10年経過している	施設設置より1~5年経過している	施設設置より1年未満経過している	点数	5年以上	5年未満	点数	破損箇所が多く、錆が著しい	破損箇所が見られ、錆が発生している	異常なし	点数	点数計	背後地に集落等がある	背後地に人家等が点在している	ほとんど農地である			山付である	点数	悪い	普通	良い	点検・整備を実施していない	点数	点数計			
1	河内	鳥栖市	河内町	578.0	31	(60)	(40)	(30)	(0)	(60)	(40)	(30)	(0)	(40)	(100)	(60)	(50)	(40)	(0)	(30)	(20)	(10)	(20)	(20)	(10)	(0)	(20)	(100)	(60)	(50)	(40)	(30)	(60)	(40)	(20)	(0)	(0)	(50)	(100)	A	A	A	I

道 路 課

公共事業新規評価調書(維持系)

本部・部名	交通政策部	課名	道路課	事業名	道路橋りょう保全費(道路保全)	舗装補修
種別	道路	事業区分	維持管理			

事業目的	舗装の経年劣化に伴う路面の凹凸やひび割れの発生により、走行性が悪化し、車両通行に支障を来している箇所に補修を施し、道路交通の安全性及び快適性の確保を図る。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト縮減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。路盤材、アスファルト等は、再生材等の安価な材料を使用する。
	その他	

公共事業新規評価調書

事務所名	箇所番号	道路種別	路線名	事業地	事業費		公共単独の別	完成予定年度	事業概要				評価視点:位置付け						評価視点:必要性-効果				評価視点:実施環境														判断																	
					全体額 百万円	要望額 百万円			延長 m	幅員・法長 m	平積 m2	工法	評価指標:事前調査						評価指標:損傷の程度		評価指標:交通量		評価指標:公共施設、沿道状況等																															
													わだち 掘れに よる 通行 車両 や通 行人 に障 害が 発生 して いる 箇所	舗装の 劣化が 激しい 箇所	カーブ 区間及 び交差 点付近 などの 備荷重 のかか る箇所	大型車 の通行 が多い 箇所	沿道が 家屋連 担地区 であり、 通行車 両の配 慮すべ き箇所	通行規 制区間	洗滌対 策プロ グラム の渋滞 箇所	交通事 故多発 箇所	Q/MC 値	②事業 (交通安 全事業 等)との 関連に よる 舗装の 補修が 必要箇 所	現況交 通量(日 当たり)	点数	沿道状況による評価																													
					沿道状況による評価														点数小計		沿道状況による評価																																	
					沿道状況による評価														点数小計		沿道状況による評価																																	
佐賀	1	主	佐賀川副線	佐賀市水ヶ江	佐賀市水ヶ江	14	14	単独	H27	300	7.0	2,100	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	5.0	30	30	14,307	40	70	60	7	2	9	10	1	5	1	6	2	60			0	60		20			20		0	80	A	B	A	I
佐賀	2	主	佐賀川久保鳥橋線	佐賀市高木瀬町	佐賀市高木瀬町	32	32	単独	H27	750	7.5	5,625	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	3.1	30	30	15,817	40	70	60	4	3	5	5	1	3		2	60			0	60		20		10	10	90	A	B	A	I			
佐賀	3	一	佐賀環状東線	佐賀市木原	佐賀市木原	14	14	単独	H27	200	13.5	2,700	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	3.7	30	30	20,001	40	70	60	2		8	4		3	2	60			0	60		20		10	10	90	A	B	A	I				
佐賀	4	一	鍋島停車場線	佐賀市木崎島町八戸	佐賀市木崎島町八戸	11	11	単独	H27	250	8.0	2,000	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	3.0	30	30	10,293	40	70	60	4		5	4	1	1	3	60			0	60		20		10	10	90	A	B	A	I				
佐賀	5	一	川上牛津線	佐賀市大和町川上	佐賀市大和町川上	32	32	単独	H27	800	6.5	5,200	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	1.5	60	60	7,102	30	90	60		1		2		1	1	1	60			0	60		20		10	10	90	A	A	A	I			
佐賀	6	一	運送及佐賀停車場線	佐賀市栄町	佐賀市栄町	14	14	単独	H27	200	7.0	1,400	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	4.4	30	30	10,831	40	70	60	5	1	7	7		4	1	10	60			0	60		20		10	10	90	A	B	A	I			
佐賀	7	主	武雄多々線	多久市多久町	多久市多久町	17	17	単独	H27	350	7.0	2,450	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	80	3.4	30	30	8,125	30	60	60	1		2	2	1		1	60		40	40	60		20		10	10	90	A	B	A	I				
佐賀	8	主	多久若木線	多久市西多久町	多久市西多久町	27	27	単独	H27	450	7.0	3,150	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	2.2	60	60	5,579	30	90			1			1	1	60		60	60		20		10	10	90	A	A	A	I						
佐賀	9	主	多久若木線	多久市西多久町	多久市西多久町	21	21	単独	H27	400	7.0	2,800	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	4.9	30	30	5,579	30	60			1			1	1	60		60	60		20		10	10	90	A	B	A	I						
東部	10	国	385号	吉野ヶ里町	松隈	16	16	単独	H27	350	8.0	2,800	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	80	3.1	30	30	32,002	40	70			1					1	60		20	60		20		10	10	90	A	B	A	I					
東部	11	主	佐賀川久保鳥橋線	神埼市	神埼町城原	15	15	単独	H27	270	8.0	2,000	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	80	4.8	30	30	17,283	40	70	60		1	1		1	1	60		40	40	60		20		10	10	90	A	B	A	I					
東部	12	一	西島筑邦線	三養基郡	みやき町天建寺	11	11	単独	H27	350	6.0	2,100	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	100	2.3	60	60	6,595	30	90	60	1		1		1	1	60		40	40	60		20		0	80	A	A	A	I						
東部	13	一	九千部山公園線	鳥栖市	河内町	13	13	単独	H27	450	6.0	2,700	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	80	2.6	60	60	404	0	60	60	1				1	1	60		40	40	60		20		0	80	A	B	A	I						
東部	14	主	佐賀川久保鳥橋線	三養基郡	上峰町堤	12	12	単独	H27	200	6.0	1,200	切削・パレイエ	20	20	20	20	20	20	20	80	3.8	30	30	17,007	40	70	60	1				1	1	60		40	40	60		20		10	10	90	A	B	A	I					
杵藤	15	国	498号	武雄市	若木町 本部	13	13	単独	H27	120	7.0	840	路上再生路盤工	20	20	20	20	20	20	20	80	4.2	30	30	13,394	40	70						1	1	60		20	60		60	60		20		10	10	90	A	B	A	I			

港 灣 課

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上部工に遊離石灰が発生しており、コンクリート鉄筋の腐食の進行が懸念されるため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無			計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計		計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
1	伊万里港（瀬戸地区） 牧島橋	伊万里市	瀬戸町	51	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上部工に遊離石灰が発生しており、コンクリート鉄筋の腐食の進行が懸念されるため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境						評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		計	評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無				計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計		当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
2	伊万里港（久原北地区） 楠久1号橋りょう	伊万里市	山代町久原	42	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	防波堤の老朽化により上部工に多数の欠損が発生し、また沈下が著しいため、補修を行いたい。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境						評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無						
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計	計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計			施設の 代替施 設が有 るのか	小計	計
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
3	唐津港（東港地区） 東港西3号防波堤	唐津市	東大島町	27	H28	50	50	30	30	80	60	60	30	30	90	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	防波堤の老朽化により上部工に多数の欠損が発生し、また塩害による鋼管杭の腐食が進行しているため、施設の効用が損なわれる前に腐食対策を行いたい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		計	評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無				計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計		当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)	(20)	(20)	(100)		
4	唐津港（二夕子地区） 東港船溜防波堤	唐津市	二夕子	54	H27	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	棧橋上部工の塩害劣化が進行しているため、施設の効用を失う前に補修を行い、利用者の安全を確保する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無		計					
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計	
5	唐津港（大島地区） 西大島地区（-5m）棧 橋	唐津市	西大島町	57	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上部工に遊離石灰が発生しており、コンクリート鉄筋の腐食の進行が懸念されるため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。また対象橋梁は耐震性にも問題があるため、合わせて耐震化を行いたい。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無						
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計	計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計			施設の 代替施 設が有 るのか	小計	計
						(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(40)	(40)	(100)	(60)	(60)	(20)	(20)			(20)	(20)	(100)
6	唐津港（東港地区） 東大島橋	唐津市	東大島町	57	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により橋梁上・下部工に剥離ひび割れが発生、また鋼管杭の腐食が進行しているため、施設の効用が損なわれる前に補修を行い利用者の安全を確保したい。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		計	評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無				計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計		当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
7	唐津港（二夕子地区） 白帆橋	唐津市	二夕子	18	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	老朽化により栈橋床板の劣化が著しく、コンクリートひび割れが多数発生して危険な状態であり、床板の取替を行い利用者の安全を確保する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無		計					
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計		施設の 機能	小計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計	
8	諸富港（石塚地区） 2号栈橋	佐賀市	諸富町	30	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	60	60	10	10	20	20	90	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	施設の老朽化により、物揚場の泊地に土砂が堆積するなど機能不全に陥っているため、臨港交通施設の補修（拡幅）を行うことで機能回復を図りたい。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け				評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境						評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無						
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計	計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計			施設の 代替施 設が有 るのか	小計	計
9	住ノ江港（芦刈地区） 住ノ江西1号臨港道路	小城市	芦刈町永田	75	H28	60	60	30	30	90	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I

公共事業新規評価調書（維持系）

様式3-2

本部・部名	交通政策部	課名	港湾課	事業名	港湾整備交付金事業費 (防災・安全社会資本整備 交付金)
種別	港湾	事業区分	維持管理		

事業目的	浮棧橋の塗装が劣化し、鋼材の錆びが顕著であるため、施設の効用を失う前に補修を行い利用者の安全を確保する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排出ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

箇所 番号	路河川名及び 地区・箇所名	所在地		総事業費 (百万 円)	完成 予定 年度	評価視点：位置付け					評価視点：必要性・効果				評価視点：実施環境					評価	判断			
		市町村名	大字等			評価指標：危険 度判定（施設の現 況）		評価指標：危険 度判定（機能判 定）		計	評価指標：構造 上の課題		評価指標：利 用度の頻度		評価指標：利 用への支障度		評価指標：地元関 係者・利用者の協力 要請		評価指標：代 替施設の有無			計		
						目視によ る破損個 所の有無 及び、錆 の割合、 土砂の堆 積状況	小計	施設の 機能	小計		計	港湾の 施設の 技術上 の基準 等との 適合	小計	当該施 設利用 の実績	小計	損個所 が多く 利用に 与える 支障度 割合	小計	地元関 係者・ 利用者 の協力・ 要望	小計				施設の 代替施 設が有 るのか	小計
10	大浦港（広江地区） 大浦港浮棧橋	太良町	大浦丁	60	H28	50	50	30	30	80	40	40	40	40	80	40	40	20	20	20	20	80	AAA	I